



天然ガス開発・生産プロジェクト（カナダ） モントニー／シェールガス開発 カナダ産シェールガスの開発・生産

モントニー／シェールガス開発プロジェクトは、西カナダのブリティッシュ・コロンビア州モントニー地域においてOvintiv Inc.と共に進めるシェールガス開発・生産事業であり、豊富な埋蔵量が確認されています。生産したシェールガスを現地で販売するだけでなく、三菱商事も参画するLNGカナダプロジェクトを通じて日本をはじめとする東アジアへも輸出します。



脱炭素関連ベンチャー投資（英国・米国）

AP Ventures/ Breakthrough Energy Catalyst

世界有数のベンチャーキャピタルへの出資参画

脱炭素社会の実現に向けて、水素関連ベンチャーキャピタルのAP Ventures LLPを通じ、有望技術を持つスタートアップへの直接出資を行っています。これまでに、Hydrogenious LOHC Technologies GmbH（水素貯蔵・輸送技術）、Hystar AS（水電解技術）、Amogy Inc.（アンモニア分解技術）へ出資を実行しています。また、ビル・ゲイツ氏が脱炭素技術の社会実装加速化を目的に創出したBreakthrough Energy Catalystを通じたプロジェクトにも取り組んでおり、Infinium Holdings, Inc.のRoadrunnerプロジェクト（e-SAF製造事業）などへの出資をコミット済みです。これらの出資を軸に、新たな技術を起点とした事業機会の創出に取り組んでいきます。

LNG カナダ
（カナダ）

CIMA ENERGY, LP.
ガスマーケティング（米国）

Petro-Diamond Inc.
輸送用燃料の仕入れ・貯蔵・
販売事業（米国）



LNG液化・販売事業（米国） キャメロンLNG/ e-methane（合成メタン）開発事業

米国産天然ガスの液化・輸出/
米国キャメロンLNG基地を活用したe-methane開発プロジェクト

キャメロンLNGは米国産の天然ガスを液化・輸出するプロジェクトであり、年間1,200万トンのLNG商業生産能力を有します。2019年8月に商業運転を開始し、三菱商事はそのうち年間400万トンを取り扱っています。また、三菱商事が熱需要の脱炭素化に向けて、導入を目指す「e-methane（合成メタン）」[※]では、キャメロンLNGの設備を活用の上、2030年までに日本向け輸出を実現すべく取り組んでいます。

※水素とCO₂を原料に製造された合成メタン



低炭素水素・アンモニア製造・販売事業（米国、日本、インドネシア他）

低炭素水素・アンモニアプロジェクト

低炭素水素・アンモニアの社会実装プロジェクト

カーボンニュートラル社会実現に向けた施策の一つとして、低炭素水素・アンモニアの燃料用途での社会実装を目指しています。低炭素水素・アンモニアは、燃やしてもCO₂を排出しない次世代燃料として注目が高まっており、大規模かつ安定的なサプライチェーン構築に向け、パートナー企業と共に世界中で開発に取り組んでいます。

■ ガラフ 原油生産（イラク）
■ バスラ・ガス・カンパニー
天然ガス精製・販売事業（イラク）

■ カルハットLNG（オマーン）
■ オマーンLNG（オマーン）

Diamond Gas International (DGI)
LNG販売（シンガポール）

マレーシア LNG（マレーシア）
ブルネイ LNG（ブルネイ）

ブラウズ開発（オーストラリア）
ノース・ウェスト・シェール（オーストラリア）
ウィートストーン LNG（オーストラリア）

▲ 開発中プロジェクト

■ 操業中プロジェクト



石油製品販売事業（日本） 三菱商事エナジー 石油製品の安定供給に取り組む

三菱商事エナジー株式会社は、国内石油製品販売事業の経営資源を集約・強化することを目的とし、2015年10月1日に設立しました。ガソリン・灯油・軽油から重油・アスファルト等、石油製品の安定供給を担いつつ、株式会社カーフロンティアを通じてEコマース事業等、同社のリテールネットワークを活用した新規DX事業も推進しています。

■ サハリン2(ロシア)



LPG輸入・販売事業（日本） アストモスエナジー 世界最大級のLPGプレイヤー

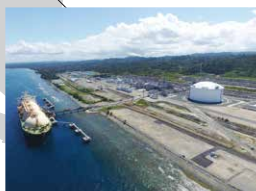
三菱商事グループの三菱液化瓦斯株式会社と、出光興産グループの出光ガスアンドライフ株式会社が事業統合して設立されたアストモスエナジー株式会社。LPG取扱量は、専業会社としては世界最大級で、国内需要の約25%を担っています。家庭用燃料電池、高効率給湯器などの普及や電力の小売りも行っています。



SAF製造・販売事業（日本） 持続可能な航空燃料（SAF）製造事業 国産SAF製造プロジェクト

電化・水素化が難しい航空領域の脱炭素化に向けて、SAFの社会実装に取り組んでいます。三菱商事は、国産SAFの供給体制構築を目指し、ENEOS株式会社と共に、同社と歌山製造所にて廃食油、獣脂といった廃棄物や副産物などを原料としたSAF製造の事業化検討を進めており、2028年度以降の製造開始に向けて取り組みを加速させていきます。

■ タンクーLNG
(インドネシア)



LNG液化・販売事業（インドネシア） ドンギ・スノロLNG 初のオール・アジアLNGプロジェクト

ドンギ・スノロLNGプロジェクトは、資源メジャーが参画しない、日本・インドネシア・韓国による初のオール・アジアLNGプロジェクトです。三菱商事は最大株主として主導的役割を担っており、2015年からLNGおよび随伴コンデンセートの製造販売を行っています。



地球環境エネルギーグループ

Environmental Energy Group

地球環境エネルギーグループは、エネルギーの安定供給を果たすとともに、エネルギートランジションを推進し、カーボンニュートラル社会の実現に貢献することをミッションとしています。

当社は、半世紀以上に及ぶ天然ガス／LNG、石油、LPG事業を通じて、これまで多くの顧客やパートナーと協業し、エネルギーの安定供給に貢献してきました。

これらの事業を通じて培ったネットワーク、信用力、事業開発力や販売力を活かし、社会に必要なとされる商材を適切なタイミングで開発・供給し、顧客ごとの最適なエネルギーソリューションを提供していきます。

次世代エネルギー本部

- 次世代発電燃料事業部
- バイオ・合成燃料事業部
- 水素ソリューション開発部
- バイオ・eメタン事業部
- カーボンマネジメント部
- 事業開発部

低炭素水素・アンモニア、SAF、水素、低炭素メタノール、低炭素エタノール、次世代エネルギー関連インフラ、カーボנקレジット、CCUS、その他脱炭素技術

石油ソリューション本部

- リファイナリー事業部
 - LPG・石油原料事業部
- 原油、ガソリン、灯油、LPG、ナフサ、その他石油製品、木質ペレット

LNGアジア・パシフィック本部

- ブルネイ事業部
 - マレーシア事業部
 - インドネシア事業部
 - オーストラリア事業部
 - ロシア事業部
 - オペレーション統括部
- 天然ガス、液化天然ガス（LNG）

LNG米州・開発本部

- 新規事業開発部
 - グローバルマーケティング部
- 天然ガス、液化天然ガス（LNG）